

# 天空の窓

## 副会長あいさつ

「この1年間を振り返って」 須崎 克己

会員の皆さまには、お変わりなくお過ごしのことと存じます。平成17年度も皆さまのご協力のもと、たくさんの行事を成功させることができましたこと、感謝申し上げます。

さて、標題の原稿の依頼をいただきましたので、私ごとで恐縮ですが、綴らせていただきます。

おそろおそろ、私が初めて前会長にメールをしたのは、去年の1月でした。それからすぐにととてもあたたかい返信をいただき、高校生の息子が受けた診断にとまどっていた我々親子にとって、それは暗闇の中にひとすじの光をいただいた思いでした。そして定例会を見学させていただき、「お手伝いできる方」の呼びかけに、「何かできることがあるのであれば」と挙手しました。それが後で「副会長」の任をいただくことなど、思いもよらなかったのですが・・・。

学年別のグループ活動では、全てのグループ活動がそうだと思いますが、私たち親子ともども本当にお世話になっています。ここで同じ年代の子の悩みを持つ親御さんの話を聞くことができたことは、何ものにも変えがたい助けでしたし、私の最も求めていたものでした。ぜひ、シエルの会の基幹活動として継続されていくことを望んでいます。

シエルの会の印象は、会員さんの一人一人が自主的に参加し協力されているということが他のPTAや町内会とは違った点で、とても新鮮でした。しかし、会員数が増えていくにつれ、役員さんの負担は増していき、年々大変になっているのも事実です。また、自立支援法の制定を受け、他地域の組織とのネットワークづくりや子どもたちの将来のために外部と連携していくことなども必要になるかもしれないなど、これからも必要な作業は増えることはあっても減らすことはなかなかない、と役員会では悩みが話されています。

折りしも、平成18年度の総会がもうすぐです。私のようなものでも、役員さんのお手伝いことができました。ぜひ、皆さまの多数のご協力をお願いしたいと思っています。特に、

お父さんがたの参加が少ないようですので、こちらは大歓迎です。仕事による時間の制約はあると思いますので、できる範囲での参加で結構です。必ず、得るものはありますし、会にとっても助かります。ぜひ、お声がけください。お待ちしております。

今後、高機能広汎性発達障害への認知が高まってくるに伴い、私のような助けを求める親がますます増えてくることでしょう。そんな方たちに、シエルの会がいつでも優しい組織であり続けることを願い、仲間に加えてくださった会員みなさまへの感謝を込めつつ、来期も変わらぬご理解とご協力とをお願いいたします。

### - 平成17年度下半期行事についての報告・感想 -

#### 「クリスマス会 報告(05.12.10実施)」 Y.I

5回目となったクリスマス会は、高校生が大活躍！

今回のメインは、高校生たちが一昨年から活動している LARGO&エンジョイサウンドの演奏会、しかもこのクリスマス会が彼らにとって初！の発表会となりました。緊張した顔を見せつつも、奏でるその心地よい音は、子ども達がまっすぐに（時にはノリノリで）聞き入るほどすばらしかったのであります。また、彼らの指導に当たってくださっている LARGO の方達と共に体を使った打楽器演奏では、大人はその速さについていくのがやっとな...?! 素敵な演奏とめずらしい楽器に目を奪われ、手作りのマラカスのプレゼントまで頂き、親子共々楽しい時間となったのであります。

恒例となった「マイコレクション展示」では、小中学生から多くの発表がありました。普段はおとなしく見えるシエルくんたちも、大好きなガンダムや電車・標本・手作りの作品の説明に、自らマイクを持ち、司会者が終了のタイミングを見失うほど（笑）堂々としていて、彼らしい上手な話を聞かせてもらったのであります。

最後の登場は、高校生のシエルくんサンタ。シエルくんは子ども達の夢を大事にしたいと、誰も見ていないところで変身。「良い子でがんばるんだよ。」と一人一人頭をなでてプレゼントを渡す姿は、歴代サンタの No1! ...弟のチビサンタと共に、夢あるひとときをくれたのであります。

最初のクリスマス会では小学生だった彼・彼女たちが、高校生になってもこうして参加できるクリスマス会になったことがとても嬉しく、また次もシエルの子ども達が輝ける場を、その瞬間を見たいと思ったのであります。

（追伸）

クリスマス会を催すにあたり、お手伝い下さったボラのみなさま・プレゼントを提供して下さった中川先生・お父さん・お母さん・高校生のみんな・そして参加してくれた子ども達...クリスマス会大成功は皆さまのおかげです。本当にありがとうございました！

（余談）

毎年10月になると、「今年のクリスマス会は何にしよう...。」と大人達が頭を悩ませます。企画はもち

ろん私たち親が決めていくのですが、いつもの役員会では難しい顔をして話をする親たちも、この時ばかりは皆楽しそう...話もさくさくと決まっていくのです。なぜ?...だって、子どもたちの笑顔を思い浮かべたらワクワクせずにはいられない...と私は勝手に思っています。次のクリスマス会の企画...今年担当のみなさんも、このワクワクをぜひ味わってみてください。



### 学年毎グループの活動について

#### (1)「低学年部の活動について」(小学校1年～3年生) R.N

「シエルの会」低学年部は11月20日、「地下鉄を探検して、カレーライスを食べる会」を行いました。親子で1チームをつくり、地下鉄に親しみ、「発見」したことを持ち帰って子どもたちにお話してもらいました。

親子のより良い関係を築くためのコミュニケーションと、交通機関利用のソーシャルスキルの、両方が目標です。また、低学年部のメンバーは入会して日が浅い人が多いので、お互いを知り合い、今後とも「シエルの会」を通じて親しく交流できるようになる機会にしたいと願いました。

16組の親子が参加しましたが、半分の世帯でお父さんが参加し、お父さんと遊ぶよい機会にもなりました。ノートを持って、見たものをその場で記録した子どもたちが、きちんとした発表をすることができました。

発言の後、みんなでカレーライスを食べ懇親を深めました。大半のお子さんには「地下鉄探検」に参加したのですが、地下鉄の大きな騒音が苦手のお子さんがあることも考慮して、カレーづくりを親子で楽しんだものです。

地下鉄をあまり利用したことがないお子さんに、自分で改札機をくぐる、ホームのどちら側が自分の乗る電車か、自分がめざしている出口はどっちかをさがす、トイレはどこにあるか確認するなど、公共交通利用のスキルアップを意識してもらいました。

駅から外に出てみて、駅の近くに何があるか探した親子(富沢の車両基地まで足を伸ばした親子がいました)地下鉄の駅構内の壁にあるアートを探した親子(広瀬通駅は天井に光のアート「星のプロムナード」が描かれています。台原駅には壁面を利用した彫刻「風のシンフォニー」があります。勾当台駅のプロムナードには、壁面から天井までを利用して「創造の森」の壁画が描かれています。仙台駅のコンコースには壁面に「ふるさとの四季」が描かれています)など、それぞれの楽しみ方がありました。

## (2)【高学年グループ】〈小学4年～6年生〉の活動を振り返って・・・ I.I

高学年グループはなぜか、定例会でも参加が少なく、なかなかグループの活動も決めることが出来ませんでした。そんな中で後半になり、バタバタと決まり、大きく二つの活動をしました。

一つは11月に行われた「中学生グループの親御さんとの交流会」です。出欠も取らずに当日何人集まってくれるのかドキドキものでしたが、思いのほか・・・というか、かなりの人数の参加がありました。やはり、この年齢だと気になるのは、これからの中学・高校のことなのですね。そして、こちらのいろいろな問いに中学生グループの親御さんから本当に沢山の興味深いお話を聞くことが出来、予想以上に有意義な時間をすごさせていただきました。これは、これから反対の立場になるであろう私たちも、いろいろ勉強になりました。

もう一つは3月に行われた「ボーリング大会」です。ボラさんもお願ひせず、ともかく「親子で楽しもう!!」と親御さんも別にグループを作り、みんなで楽しみました。まず、第一に思ったこと。「やはり高学年さんともなると、みんなちゃんとしているんだなあ～～」と(笑)ちゃんとしている・・・というのは、変な言い方ですが、特に六年生のグループなんかは、「見張り?」など何も必要としません。順番を守り、ストライクが出れば、みんなで拍手です。私は、この子たちを低学年の頃から知っているので「本当に立派になったなあ～～」と一人で感激しておりました!! 私事を言わせていただければ、これが小学校最後の行事でした。

これからは、未知の世界(中学校)というのが待っていて、子供のよく言えば「マイペース」な(悪く言えば何も考えていない)態度に親としては不安な日々です。しかしながら、この素直なシエルの仲間とまたグループが上がっても楽しく、時には相談したり、悩んだりしながら頑張っていこうと思います。

高学年グループの皆様、一年間、ありがとうございました。

中学生グループの皆様、これからよろしくお願ひします!!

## (3)「中学生グループの活動紹介」 H.H

シエルの会定例会等で親が集う機会は定期的に有りましたが、中学生は部活・定期テスト等でなかなか会の行事に参加できなくなっていました。

そこで、学校・部活ではない場で遊べる機会を作れたら! 友達がなかなか出来ないのと同年代の子供と交わらせたい! 親も色々な意見交換が出来れば! と願ひ、H17年度からスタートした交流会です。出来るだけ多くの子供達に参加してもらえればと思ひ、事前申し込み等はせず「予定が急に空いたから行ってみようかな?」と参加出来るスペースづくりをしてきました。親が子供達を遊ばせるのでは無く、ボランティアとして参加して頂いた

越智先生・谷崎さんを始めとする 3 人の学生さんをお願いをして、いろいろな場面を想定した自己表現（ソーシャルスキル）を少し取り入れた活動も出来ればと、色々欲張って活動をスタートしました。

エコキャンプみちのくでの芋煮会、高校生のお母さんを囲んでの会などを含んで 8 回の活動をすることが出来ました。子供達は、自分の好きな物を持ち寄り、それを通して他の参加者の趣味に目を向け、興味を示し、遊びを共有出来るようになってきました。集団の集いになかなか加われない子供達も、最後には全員参加してくれる様になりました。

3 月の最後の交流会では、卒業する 3 年生の子供達より、「楽しかった。」「高校生になるので、このグループを卒業して新たな活動をしたい。」「高校生として、中学生グループのボランティアをしたい。」などの感想を聞くことができました。

今年度は、もう少し外に出る機会を増やすことが出来ればと思っております。

新中学 1 年の皆さん、まだグループ活動に参加した事のない方も、是非一度参加してみてください。今まで見たことがないような我が子の遊ぶ姿が見られるかもしれませんよ！

#### (4)「初めて仲間たちと動き出した青年たち」(高校生グループ)

- Enjoy Sound の 1 年を振り返って - T.S

「癒し打楽器サークル LARGO」さんの全面的なサポートをいただいて、Enjoy Sound の活動が 1 年を経過しました。

人間関係がうまく行かないとか、友達を作りにくいとか、悩みの多い子たちです。同じ悩みを持つ仲間との出会いや、他の人と楽しい時間の共有、心を合わせて活動する体験を与えたいと、親主導でサークルを立ち上げました。本当に続くのかと不安いっぱいでしたが、同じメンバーでずっと活動が続いているのを見ると、本人たちの楽しみになってきているようで、ほっとします。

親は基本的に活動には入らないし、シャイなメンバーが多いので親には詳しいことはあまり伝えてくれないのですが、ちょいとのぞいた時のメンバーの表情が生き生きしてて、メンバー同士のやり取りや LARGO さんとのおしゃべりも楽しそう。活動は、楽器を使ったいろいろな遊びを楽しんだり、思い思いに打楽器を鳴らしたり、それが自然と素敵な音楽になっていたりと、“音の空間を楽しむ”活動をずっと続けているようです。また、トンチャイムで曲に挑戦し、シエルのクリスマス会では大勢の人の前での演奏も体験しました。

メンバーは、Enjoy Sound を「自分たちのサークル」と感じているようです。メンバーどうしの関係も徐々に深まってきています。Enjoy Sound の 1 年間、いい時間を過ごしたなあとしみじみ感じます。LARGO さんに本当に感謝！！です。

## (5)「鉄っちゃんクラブを通して」

鉄っちゃんクラブは2005年にできた乗り鉄クラブです。今までに、東京の交通博物館に行ったり、会津の蒸気機関車に乗ったりしました。そもそも鉄っちゃんクラブが出来た理由は、僕は鉄道の旅が好きですがその機会が余りなく、かと言って一人だけでも寂しいので、鉄道好きの友だちを集めてみんなで旅行に行こうということでした。始めは3人でしたが、後に5人となり現在に至っています。鉄っちゃんクラブも開部から1年が経ちました。今年の3月は、僕やK君の受験のために計画表を出すのが遅れて、僕とD君と彼の家庭教師のMさんの3人だけとなってしまいました。8月に予定している旅行では、みんな行けたらいいなと思っています。

(自称)鉄っちゃんクラブ部長 頭文字 H.G

## 編集後記

前号同様、勝手にわからないまま編集の任にあたり、何とか形になったものを会員の皆様へお届けしますことをお許してください。

原稿をお寄せいただきました方々、お忙しい中、本当にありがとうございました。

今回は、主に学年別毎に行われてきました活動内容等について、ご紹介させていただきました。これらの文章をお読みになり、各グループへの参加の参考にしていただければ幸いです。

また、会報についてのご感想やご意見等をお聞かせいただきますよう、よろしく願いいたします。

皆様、1年間お世話様でした。

